

救急靴仕様書

京都市消防局総務部施設課
(担当：藤・菱野 212-6649)

第1 総則

- 1 本仕様書は、京都市消防局（以下「当局」という。）が調製する救急靴について、必要な事項を定める。
- 2 この救急靴に使用する材料及び付属品は全般にわたって十分検査が施され、この仕様書のすべてを満足するものでなければならない。
- 3 この救急靴は、仕上げが良好で、形状が均整かつ堅固であり、傷、斑点、汚れ及びその他著しく外観を損なうような欠点がないものとする。
- 4 本仕様書の細部については、すべて当局の承認又は指示を受けるものとし、本仕様書に明示されていない事項についても、それが製作上当然必要な場合は、これを施行すること。
なお、製作上のことで疑義が生じたときは、速やかに当局と協議すること。
- 5 契約業者は、納入前に自主検査を行うと共に、製品工程上の品質管理の適正を図ること。
- 6 材料及び完成品についての検査は合理的な方法で行い、試験は J I S T 8 1 0 7 : 2 0 2 0 の規定により行う。
なお、本仕様書中において示す性能以上を備えるものについては、本仕様書の要件を満たすものとする。
- 7 契約業者は、本製作に着手する前に見本を製作し、当局の承認を得ること。
- 8 サイズについては、第6、2のとおりとする。
- 9 製品は当局の各所属に納入すること。
- 10 各サイズの数量及び納品場所別の内訳は、契約後に指示する。
- 11 契約後、打合せを実施する。
- 12 請求書には、物品の単価を明記すること。

第2 調達数、履行期限及び納入場所

1 調達数

170足

2 履行期限

令和8年12月18日（金）

3 納入場所

京都市消防局本部庁舎	京都市中京区押小路通河原町西入榎木町450番地の2
消防活動総合センター	京都市南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内94番地の4
消防学校	京都市南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内21番地の3
北消防署	京都市北区大宮西脇台町17番地の2
上京消防署	京都市上京区釜座通下立売下る東裏辻町398番地
左京消防署	京都市左京区田中西大久保町36番地
中京消防署	京都市中京区西堀川通御池下る西三坊堀川町521番地
東山消防署	京都市東山区清水五丁目130番地の8
山科消防署	京都市山科区西野今屋敷町2番地の10
下京消防署	京都市下京区五条通高倉西入堺町27番地
南消防署	京都市南区西九条菅田町4番地の1
右京消防署	京都市右京区太秦蜂岡町36番地

西京消防署
伏見消防署
醍醐消防分署

京都市西京区檜原佃 19 番地
京都市伏見区竹田七瀬川町 9 番地の 1
京都市伏見区醍醐大構町 28 番地

第 3 形式 (図 1 参照)

靴の形式はスリッポン式短靴とする。

第 4 製法及び種類

靴の製法は、射出成形製法とし、靴の種類は J I S T 8107:2020 (安全靴) に規定する革製普通作業用 (S) とし、付加的性能として、かかと部の衝撃エネルギー吸収性 (E)、耐滑性 (F) を有するものとする。

第 5 各部の名称及び主要材料

1 名称

図 1 及び表 6 による。

2 主要材料

- (1) 甲被は、厚さが均等で、傷などの欠点がなく、牛クロムなめし法により製造し、J I S T 8107:2020 及び J I S K 6558-8-1:2016 の革の試験方法により試験し、表 1 に適合した牛クロム型押し革を用いる。

表 1

項目		規格
銀面割れ	高さ (mm)	6.0 以上
	荷重 (N)	150 以上
クロム含有量 (%)		3~5.5

- (2) 表底は、J I S T 8107:2020 の表底の試験方法により試験し、表 2 に適合した発泡ポリウレタンを用いる。

表 2

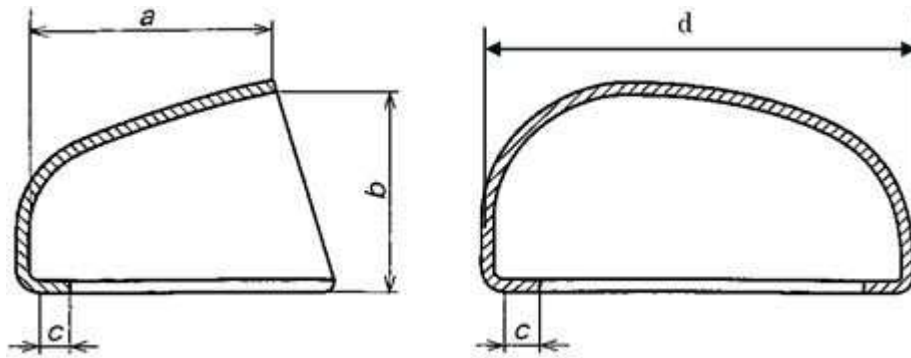
項目		規格
引張特性	引張強さ MPa	14 以上
	伸び %	300 以上
引裂強さ N/mm		35 以上
耐老化性	引張強さの変化 %	-20~20
表底の耐燃料油性	体積変化率 %	-12~12

- (3) 甲縫糸は、太さ及びより方が均等で、使用目的に適合した合成繊維糸を用いる。

- (4) 先しんは、表面をすべて平滑に仕上げ、へり及び角に丸みを付けたワイド強化樹脂製のものを用いる。各部のサイズは表 3 及び下図のとおりとする。

表 3

部位	23.5cm~24.5cm	25cm~25.5cm	26cm~27cm	27.5cm~30cm
a (長さ)	42mm~45mm	43mm~46mm	45mm~48mm	46mm~50mm
b (高さ)	38mm~41mm	39mm~42mm	41mm~44mm	42mm~45mm
c (下辺折り曲げ部)	3mm~11mm			
d (幅)	82mm~85mm	84mm~87mm	87mm~89mm	89mm~92mm



(5) 中底

中底は、柔軟性及び吸湿性のある合成材を用いる。

第6 構造及びサイズ

1 構造

靴は、つま先にワイド強化樹脂製先しんを装着し、履き口部にクッションを取り付けた脱ぎ履きが容易なスリッポンタイプで、表底はクッション製に優れた発泡ポリウレタン（アウトソールとミッドソール）の2層底で、耐滑性、屈撓性及び泥づまり防止を加味した意匠とする。（図1及び2参照）

また、意匠には靴底の交換時期の目安となるスリップサインを取付ける。（図2参照）

つま先部は、つま先を高め設計し、段差でのひっかかりを軽減し、つまずきによる転倒事故の防止を図る。

かかと部には、夜間の視認性を高めるライン状の反射材を装着する。（図1参照）

2 サイズ

靴のサイズは、J I S S 5 0 3 7 : 1 9 9 8（靴のサイズ）に規定するEEEを準用し、表4のとおりとする。

表4

22.5	23	23.5	24	24.5	25	25.5	26	26.5	27	27.5	28	28.5	29	30
------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	----

単位（c m）

第7 完成品の性能

1 耐衝撃性及び耐圧迫性

靴の耐衝撃性及び耐圧迫性は、J I S T 8 1 0 7 : 2 0 2 0の衝撃試験方法及び圧迫試験方法によって試験したとき、表5に適合すること。

2 甲被と表底のはく離抵抗

靴の甲被と表底のはく離抵抗は、J I S T 8 1 0 7 : 2 0 2 0の表底のはく離試験方法によって試験したとき、表5に適合すること。

3 かかと部の衝撃エネルギー吸収性

靴のかかと部の衝撃エネルギー吸収性は、J I S T 8 1 0 7 : 2 0 2 0のかかと部の衝撃エネルギー吸収試験方法によって試験したとき、表5に適合すること。

4 耐滑性

靴の耐滑性能は、J I S T 8 1 0 7 : 2 0 2 0に規定する耐滑試験方法によって試験したとき、表5の規定に適合すること。

表 5

項目	規格	
耐衝撃性及び耐圧迫性 試験条件：S種	サイズ（足長）	すき間（mm）
	23以下	12.5以上
	23.5～24.5	13.0以上
	25～25.5	13.5以上
	26～27	14.0以上
	27.5～28.5	14.5以上
	29以上	15.0以上
※すき間…中底と先しんのすき間		
かかと部の 衝撃エネルギー吸収性	吸収エネルギーが30J以上	
表底のはく離抵抗	300N以上	
耐滑性	動摩擦係数が0.35以上	

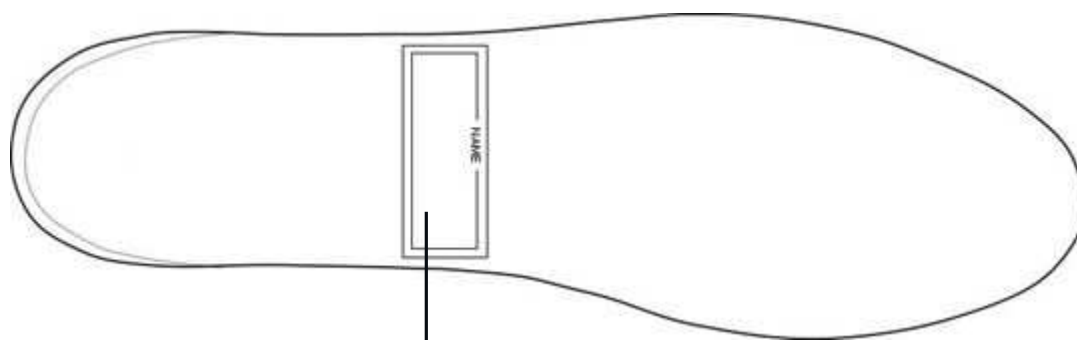
第8 品質及び外観

靴は、仕上げが良好で、形状が均整かつ堅固なもので、使用上有害な、傷、斑点、汚れ、その他著しく外観を損なうような欠点がないものとする。

第9 表示

1 製品

- (1) 靴の表底には、社標、サイズ及びJISマーク等を容易に消えない方法で表示する。
- (2) 靴の中敷には、JIS規格による種類、JIS認定番号及び製造業者名又は略号を表示する。
- (3) 靴のべろ裏及び中敷きには、下図のとおり氏名記入欄を付ける。



氏名記入欄

2 個装箱

靴の個装箱には、品名、サイズ、JISマーク、JIS規格番号、JIS認定番号、JIS規格による種類及び製造業者名又は略号を表示する。

表 6

No.	名称	使用材料	備考
①	先革	牛クロム型押し革（ブラック）	厚さ1.7標準
②	腰革	〃（〃）	〃
③	市革	〃（〃）	〃
④	先裏	合成材（〃）	厚さ0.8標準
⑤	腰裏	〃（〃）	〃
⑥	履口クッション	ウレタンスポンジ	厚さ7.0標準

⑦	甲ゴム	人絹博多織ゴム (ブラック)	幅30標準
⑧	かかと反射材	反射材 (シルバー)	パイピングライン
⑨	甲縫糸	合成繊維糸 (グレー)	#20番手相当
⑩	月形しん	再生革	
⑪	先しん	強化ワイド樹脂製	表3による
⑫	中底	合成材	
⑬	踏まずしん	合成樹脂製シャンク	
⑭	表底 (ミッド)	発泡ポリウレタン (ブラック)	
⑮	表底 (アウト)	〃 (ダークアース)	表2による
⑯	中敷	合成材全敷 (ブラック)	氏名記入欄

単位 (mm)

図1

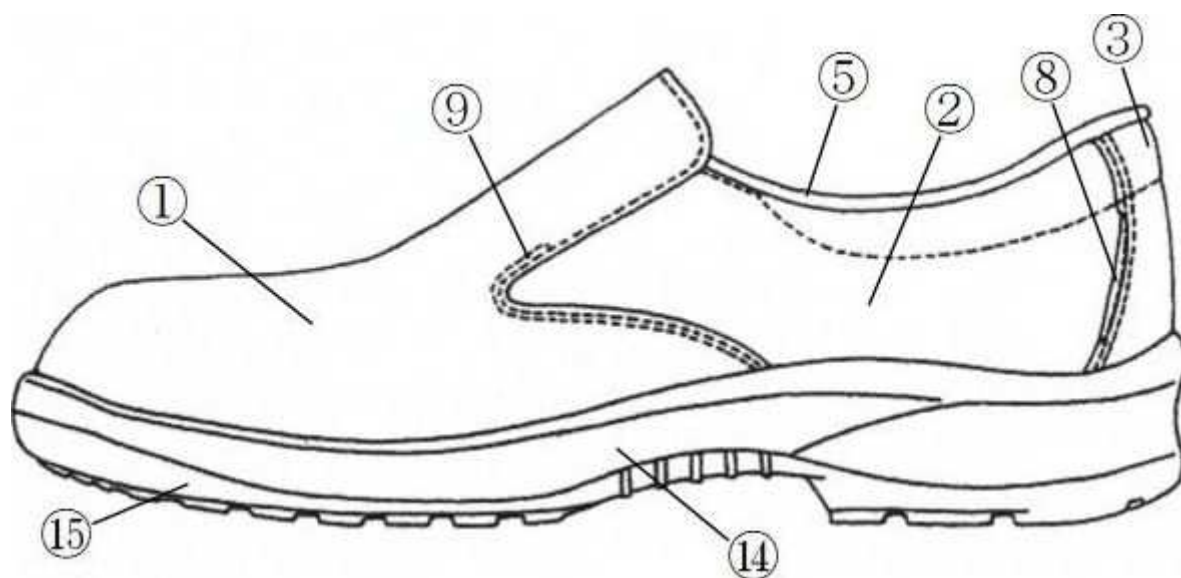
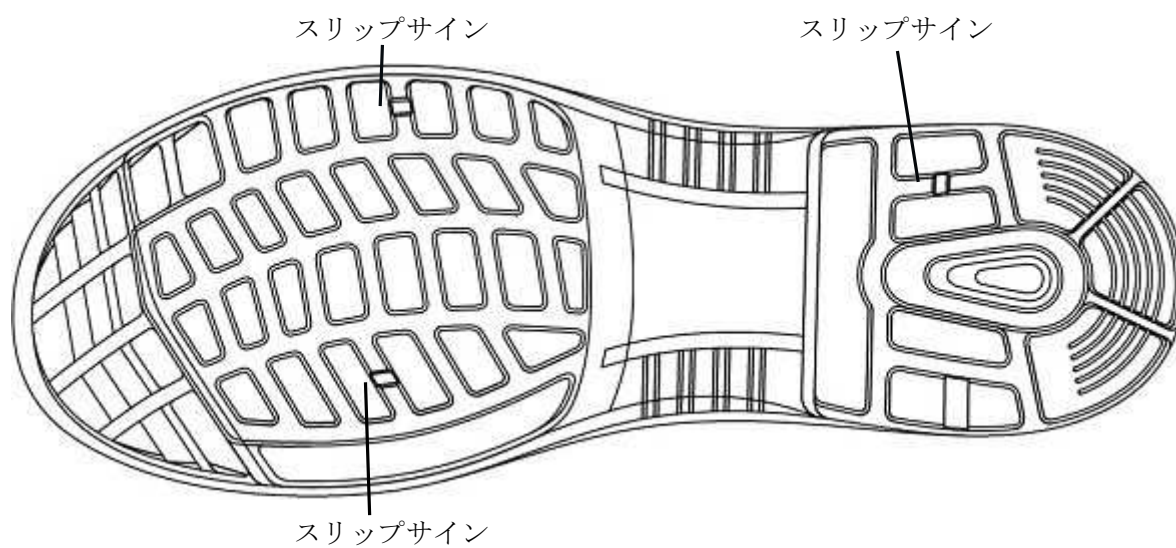


図2



※図による各部の形状は多少の相違を認めるものとする。